



「TSUNAG 認定」の第1号を認定！ ～良質な緑地を確保する14件の計画を認定しました～

本日付で、都市緑地法に基づき、14件の優良緑地確保計画を認定しました。

1. 「TSUNAG 認定」とは

- ・国土交通省では、「まちづくりGX」の一環として、令和6年11月に施行された改正都市緑地法に基づき、優良緑地確保計画認定制度（TSUNAG：ツナグ）を創設いたしました。
- ・TSUNAGは、企業等による良質な緑地確保の取組を、気候変動対策・生物多様性の確保・ウェルビーイングの向上といった観点から、国土交通大臣が評価・認定する仕組みです。

2. 認定優良緑地確保計画

14件

※一覧は別紙（添付資料）のとおり。詳細は制度HP（<https://tsunag-mlit.com/>）をご覧ください。

3. TSUNAG 認定式

日 時：令和7年4月25日（金）11:00～12:00

場 所：三田共用会議所（東京都港区三田2-1-8）

出席者：国土交通大臣※、認定事業者（※大臣の予定は公務の都合上変更となる場合があります。）

4. 取材

<認定式>

報道関係者については、傍聴・カメラ撮りの制限は特に設けません。

<Q&Aセッション>

認定式終了後に、認定事業者の実務者と報道関係者のQ&Aセッションを予定しています。

【取材登録方法】

報道関係者で取材を希望される方は、3月25日（火）までに以下のとおりメールにてご連絡下さい。三田共用会議所への入場には、事前の登録が必須となります。

件 名：【取材希望】TSUNAG 認定式

本 文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）
カメラ撮りの有無を記載願います。

送付先：hqt-tsunag(at)gxb.mlit.go.jp

（(at)を@に置き換えた上で送付してください）

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

<問い合わせ先>

都市局 都市環境課 酒井、増田

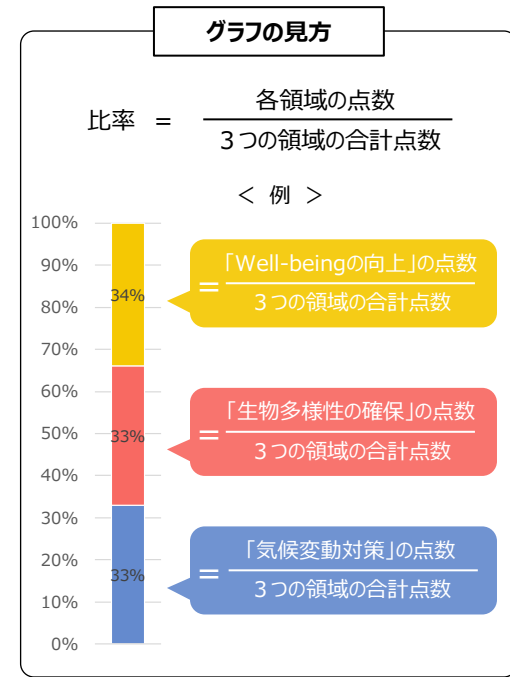
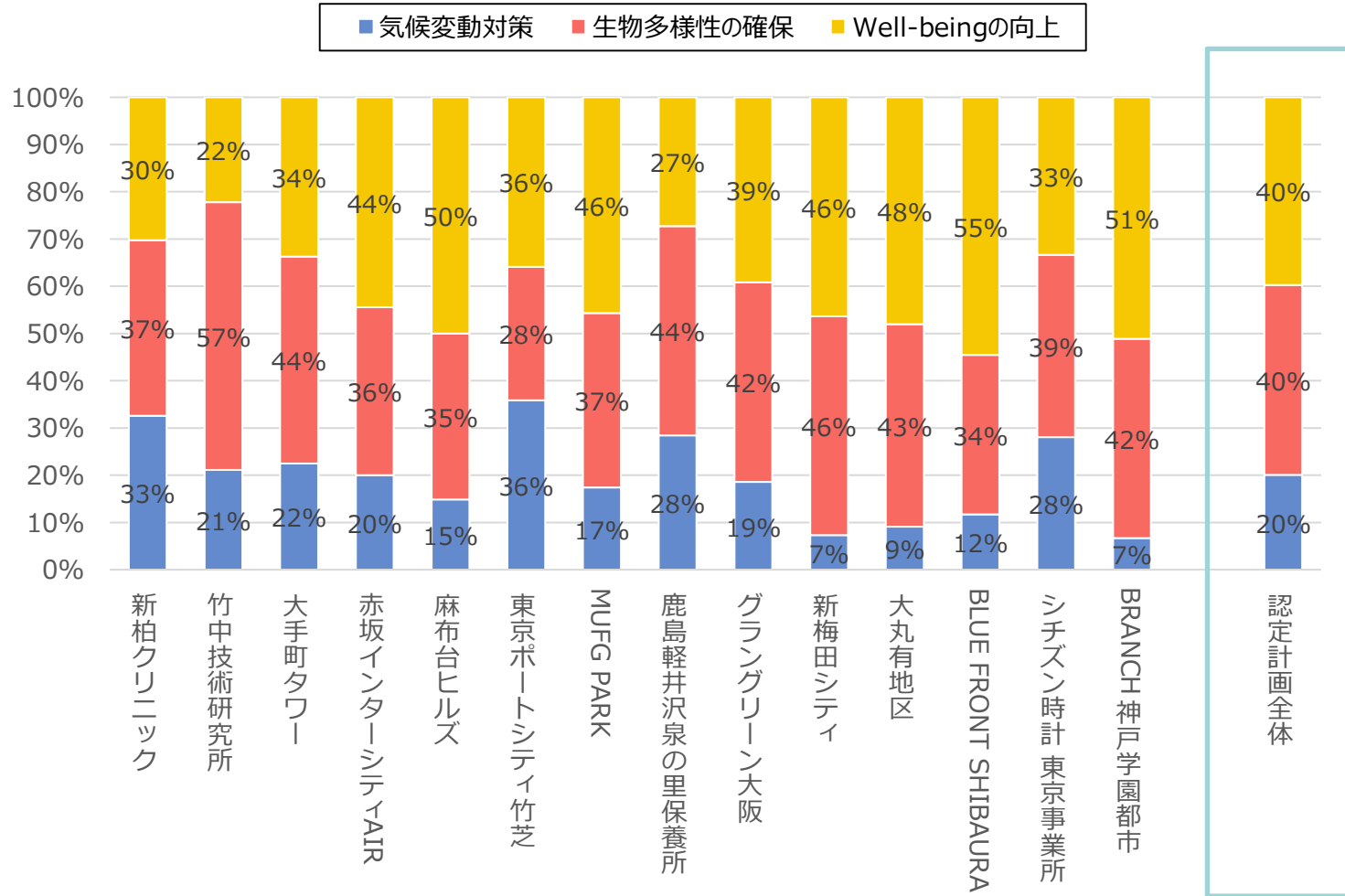
TEL:代表 03-5253-8111（内線 33344、33334）、直通 03-5253-8295

【別紙】認定優良緑地確保計画の一覧（2024年度）

※本表は、認定ランクの上位順に記載。同一ランク内においては、事業実施区域の所在地の市区町村コード順に記載。同一市区町村内においては、事業の名称の五十音順に記載。

| 認定ランク | 事業の名称・申請者の名称 | 事業実施区域の所在地 | |
|-------|---|--|---------|
| ★★★ | 新柏クリニック 医療法人社団中郷会 新柏クリニック | 千葉県柏市 | |
| | 竹中技術研究所（調の森 SHI-RA-BE） 株式会社竹中工務店 | 千葉県印西市 | |
| | 大手町タワー（大手町の森） 東京建物株式会社 | 東京都千代田区 | |
| | 赤坂インターシティAIR 日鉄興和不動産株式会社、赤坂インターシティマネジメント株式会社 | 東京都港区 | |
| | 麻布台ヒルズ 森ビル株式会社 | 東京都港区 | |
| | 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 東急不動産株式会社 | 東京都港区 | |
| | MUFG PARK 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ | 東京都西東京市 | |
| | KX-FOREST KARUIZAWA 鹿島軽井沢泉の里保養所 鹿島建設株式会社 | 長野県軽井沢町 | |
| | グラングリーン大阪 グラングリーン大阪開発事業者JV8社（三菱地所株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、うめきた開発特定目的会社）、一般社団法人うめきたMMO | 大阪府大阪市 | |
| | 新梅田シティ 積水ハウス株式会社、野村不動産株式会社、ダイハツディーゼル梅田シティ株式会社、ウェスティンホテル大阪 | 大阪府大阪市 | |
| | ★★ | 大丸有地区（ホトリア広場・一号館広場・丸ビル外構） 三菱地所株式会社 | 東京都千代田区 |
| | | BLUE FRONT SHIBAURA 野村不動産株式会社、東日本旅客鉄道株式会社 | 東京都港区 |
| | ★ | シチズン時計 東京事業所（CITIZENの森） シチズン時計株式会社 | 東京都西東京市 |
| | | BRANCH神戸学園都市 大和リース株式会社 | 兵庫県神戸市 |

○ 2024年度の認定優良緑地確保計画について、気候変動対策・生物多様性の確保・Well-beingの向上の3つの領域別の点数の比率をみると、**認定計画毎に領域別の比率は異なり、それぞれの特徴を示しているものの、全体としては、生物多様性の確保及びWell-beingの向上の比率が高く、気候変動対策の比率が低い。**



※ 1 本グラフは、認定ランクの上位順に記載。同一ランク内においては、事業実施区域の所在地の市区町村コード順に記載。同一市区町村内においては、事業名の五十音順に記載（事業名は一部略称で表記）。
 ※ 2 3つの領域の合計点数を100%として算出。比率 = (各領域の点数) / (3つの領域の合計点数)。